

**必 読****免除職在職・異動届（休職）の記入について**

前回確認時に免除職「休職」の届出をいただきましたが、1年ごとに「免除職在職・異動届」を提出する必要があります。免除職に復職した場合、免除職に復職されていない場合のいずれにおいても、同封の「免除職在職・異動届」を所定の期日までに提出してください。

**期日までに提出のない場合は、特別免除資格を取り消す場合があります**のでご注意ください。  
なお、記入例をよく読み、**押印・記入漏れ等のないように確認**してください。

**ご注意ください！ 証明年月日の記入がない届は受理できません。**

**★記入上の注意★**

※1. 用紙の記入箇所及び添付する書類は現在の状況によって異なります。P2～P4の記入例になり、正しく記入してください。

- ・免除職に復職した方、復職後に産休・育児休業・介護休業中の方・・・Ⅰ【復職】(P2)
- ・引き続き休職中の方・・・Ⅱ【休職】継続(P2)
- ・届出済の勤務先を退職した方、免除職以外の職に異動した方・・・Ⅲ【退職（非免除職）】(P3)
- ・届出済の免除職に復職後、転勤（転職）した方、職名・校名・学部等名称の変更があった方・・・Ⅳ【転勤（転職）】【職名・校名・学部等名称変更】(P4)

※ 幼・小・中・高の非常勤講師、指導主事は免除職ではありません。

※2. 西暦の下2桁を記入してください。

和暦	西暦		
令和2年	20	2	0
令和3年	20	2	1
令和4年	20	2	2
令和5年	20	2	3

※3. 訂正には、証明者の職印による訂正印が必要です。私印での訂正は認められません。

※4. 職印押印者に、**証明年月日を必ず記入**するよう依頼してください。**記入がない届は受理できません。**

◎前回確認年月日までの免除職在職月数・免除職中断月数について、宛名の下に表示されています。

(発送の時期により、在職月数・中断月数は表示されていない場合もあります。)

佐藤 和子 様

00044 6\*\*-06-\*\*\*\*\* 在000-157 中012

[奨学生番号] [在職月数A]-[在職月数B] [中断月数C]

	在職月数 A	在職月数 B	中断月数 C
昭和62年3月31日以前に1年次に入学した学校で受けた奨学金	義務教育の免除職在職月数	義務教育以外の免除職在職月数	免除職中断月数 (年数制限のある中断)
昭和62年4月1日以降に1年次に入学した学校で受けた奨学金	短期大学の奨学金のうち幼稚園の免除職在職月数	左記以外の免除職在職月数	

【お問い合わせ先】独立行政法人日本学生支援機構 返還免除係 TEL: 03-6743-6045 FAX: 03-6743-6676

※記入にあたっては、別紙「特別免除手続きにおけるQ&A」、JASSOホームページ及び「返還特別免除のてびき」もご覧ください。

※提出期日までは電話が混み合いますのでご了承ください。

※この「届」の承認通知は発行していません。不承認の場合のみ通知いたします。

**証明年月日の記入漏れにご注意ください**

**I 【復職】 免除職に復職した方、復職後に産休・育児休業・介護休業中の方の記入例**

※**休職期間すべての「辞令」等発令文書の写し（前回確認年月日以降のものすべて）**及び**復職または採用の「辞令」等のすべての発令文書の写しを必ず添付**してください。

- A** 届出の①欄に「復職前日」、②欄に「復職した日」を**西暦の下2桁**から記入してください。
- B** 【復職】を○で囲んでください。
- C** 復職後の勤務先名、**雇用契約上の正式な職名**を記入し、**常勤・非常勤の別**を○で囲んでください。  
「専任」欄は、特別支援学校（盲・聾・養護学校）・中高一貫校の場合のみ担当を○で囲んでください（主な担当一つに○）。
- D** 「俸給表」「教員免許状」について記入してください。
- E** 「氏名・本人住所」自署欄及び「勤務先住所」欄、**A～D**の記入を確認し、**在職している勤務先の長の証明**を受けてください。

**記入例 I**

**改氏名のあった方のみ記入**

**氏名・自宅住所を必ず記入**

**勤務先住所に変更があった場合のみ記入（勤務先固有の郵便番号不可、町域に設定された番号を記入）**

**証明年月日の空欄不可**

**II 【休職】 継続 引き続き休職中の方の記入例**

※**休職期間すべての「辞令」等発令文書の写し（前回確認年月日以降のものすべて）**を添付してください。

- A** 届を作成する年月日（記入日）を**西暦の下2桁**から記入してください。
- B** 【休職】を○で囲んでください。
- C** 「勤務先住所」欄は、自宅住所に変更があった場合のみ記入してください。
- D** 休職している勤務先の長の証明を受けてください。

**記入例 II**

**改氏名のあった方のみ記入**

**氏名・自宅住所を必ず記入**

**自宅住所に変更があった場合のみ記入（海外住所の場合は国内連絡先住所を記入）**

**証明年月日の空欄不可**

証明年月日の記入漏れにご注意ください

Ⅲ【退職（非免除職）】届出済の勤務先を退職した方（免除職以外の職に異動した方を含む）の記入例

- A 届出済勤務先の「最終在職日」を西暦の下2桁から記入してください。
- B 【退職】を○で囲んでください。
- C 「勤務先住所」欄に自宅住所を記入してください（海外住所の場合は国内連絡先住所を記入）。
- D 退職した勤務先の長の証明を退職日以降に受けてください。
- E 「復職意思あり・なし」いずれかを必ず○で囲んでください。→該当する記入例Ⅲ（1）もしくは（2）へ

記入例Ⅲ（1）「復職意思あり」に○の方

※免除職に就いていない期間は【中断】として処理し、次回確認時にご自宅へ届出用紙を送付します。

※中断期間は通算して5年(60ヵ月)が限度です。→5年(60ヵ月)を超えた方は記入例Ⅲ（2）へ

ただし、下記イ・ロの理由による中断は5年(60ヵ月)を超えることができますので、該当する証明書を添付してください。

- イ. 災害・傷病で就労が困難なとき：罹災証明書（原本）・医師の診断書（原本）（※就労が困難であること及びその期間の記載があること）
- ロ. 国内の大学・大学院に在学するとき（通信教育は全科履修生のみ）：在学証明書（原本）

改氏名のあった方のみ記入  
（海外住所の場合は国内連絡先住所を記入）

氏名・自宅住所を必ず記入

証明年月日は退職日以降の日付、空欄不可

Form details: 佐藤 和子, 〒135-0064 江東区青海2-79, 新宿区立育英中学校 (休職) 教諭, 東京都江東区青海2-79, 鈴木 太郎

記入例Ⅲ（2）「復職意思なし」に○の方または「中断期間が60ヵ月を超えた方」

※「復職意思なし」に○をした場合、今後再び免除職に復職しても特別猶予・特別免除を受けることはできません。本機構に届出された免除職在職期間に応じ、「一部特別免除（免除職在職期間が5年以上）」または「失格（免除職在職期間が5年未満）」の処理をしますので、イ・ロいずれかにしたがって記入してください。

- イ. 一部特別免除に該当する方（該当するか不明な方を含む）… 点線枠内に署名してください。
  - ロ. 一部特別免除に該当しない方…勤務先名欄の余白に赤字で「返還します」と明記してください。
- ⇒届出を提出後、本機構より返還開始の通知文を送付しますので、指示にしたがって返還してください。

改氏名のあった方のみ記入  
（海外住所の場合は国内連絡先住所を記入）

氏名・自宅住所を必ず記入

証明年月日は退職日以降の日付、空欄不可

Form details: 佐藤 和子, 〒135-0064 江東区青海2-79, 新宿区立育英中学校 (休職) 教諭, 東京都江東区青海2-79, 鈴木 太郎. Includes '返還します' and '(イ)' markings.

#### IV【転勤（転職）】【職名・校名・学部等名称変更】

届出済の免除職に復職後、転勤（転職）した方、職名・校名・学部等名称の変更があった方の記入例

※**前回確認年月日以降に発令された「辞令」等のすべての発令文書の写しを必ず添付**してください。

※**幼・小・中・高の非常勤講師・指導主事は免除職ではありません。**→記入例Ⅲ【退職（非免除職）】(p.3)へ

**A** 記入例Ⅰ【復職】**A**～**C** (p.2)を参照し、記入してください。

**B** 「異動・変更前の勤務先名、職名での最終在職日」を**西暦の下2桁**から記入してください。

**C** 「異動・変更のあった日」を**西暦の下2桁**から記入してください。

**D** 異動・変更後の勤務先名、**雇用契約上の正式な職名**を記入し、**常勤・非常勤の別**を○で囲んでください。「専任」欄は、特別支援学校（盲・聾・養護学校）・中高一貫校の場合のみ担当を○で囲んでください（主な担当一つに○）。

**E** 【転勤】、【職名校名学部等名称変更】のいずれか該当するものを○で囲んでください。

**F** 「俸給表」「教員免許状」について記入してください。

**G** 「氏名・本人住所」自署欄及び「勤務先住所」欄、**A**～**F**の記入を確認し、**在職している勤務先の長の証明**を受けてください。

#### 記入例Ⅳ（表面）

氏名・自宅住所を必ず記入

改氏名のあった方のみ記入

勤務先住所を記入（勤務先固有の郵便番号は不可、町域に設定された郵便番号を記入）

証明年月日の空欄不可

記入例Ⅳ（表面）のフォームには、氏名「佐藤 和子」、住所「江東区青海2-79」、勤務先住所「東京都新宿区市谷本村町10-7」が記入されています。また、勤務先として「新宿区立育英中学校」が記載されており、校長「鈴木 太郎」の証明印が貼られています。赤い枠と矢印は、氏名住所、勤務先住所、証明年月日、職名「教諭」などの記入箇所を指しています。

#### 記入例Ⅳ（裏面）

※3回以上の転勤（転職）、職名・校名・学部等名称の変更等があり**表面に書ききれない場合は、続きを届出用紙裏面の「在職状況」欄に記入し、両面とも「最新の勤務先の長」の証明**を受けてください。

続きを記入

証明年月日の空欄不可

裏面も記入したときは、必ず表裏両面に最新の勤務先の長の証明を受けてください

記入例Ⅳ（裏面）のフォームには、「在職状況」欄に「続きを記入」するための空白行が用意されています。また、証明年月日の欄には「20 年 月 日」という形式で記入されています。赤い枠と矢印は、これらの記入箇所を指しています。